

第15回グループホーム運営推進会議議事録

1. 開催日

平成21年3月18日(水) 16:00~16:30

2. 出席者(敬称略順不同)

施設長 伊東 勝

事務局部長 山中 賢

計画作成担当者 野口 みどり

1階管理者 荒川 恵

2階管理者 田中 万里子

3階管理者 島田 由美子

利用者代表 鈴木 倉八郎 水柿 直子

利用者の家族代表者 倉持 千枝

筑西市役所介護保険課 渡辺

地域住民代表者 信田 博 野口 武男 伊澤 幸二 松島 進

3. 協議事項

1) コモドヴィータ下館ボランティア活動とこれからの予定報告

- ・1月27日(火)中野社中の琴の演奏会(相談役出演)・・デイにて
- ・1月30日(金)近藤様(歌)PM1:30~デイにて
- ・2月 3日(火)PM1:30~お話会(野ばらの会)・・特定3Fにて
- ・3月 3日(火)AM10:00~穴田様(踊り等)・・デイにて
- ・3月12日(木)PM1:30~お話会(野ばらの会)・・GH3Fにて
- ・4月5日(日)PM2:00~ 大正琴(土曜会)のボランティア デイサービスにて
- ・4月14日(火)PM1:30~ フォークダンス(本城町の方々)デイサービスにて
- ・4月22日(水)PM1:30~歌や踊り コスモスポーツレファクラブのフ デイサービスにて

4. 日常の様子について各階からの報告

- ・GH1F: 2月18日(水)に金魚と水槽を購入し、GH1Fの玄関に置きました。
入居者様に餌をあげて頂いたりしております。毎日金魚の動きを見たりしながら、成長を楽しみにしています。
3月2日(月)「真壁のひな祭り」5名参加
午前中、バス2台で、施設長と事務局の菊池主任にも運転のご協力をいただき、入居者様の車椅子を押して、家々に飾られているひな壇のお人形を見たり、出店で買い物をしたりと、楽しいひとときを過ごされました。
3月4日(水)全体の余暇活動として「習字」GH1Fから5名、GH2Fから1名、GH3Fから3名他の階の入居者様同士で挨拶をされたり、また、他の階のスタッフとお話をしながら、筆でご自分のお名前を書いたりされました。
3月10日(火)GH全体の余暇活動としてGH2Fにて「貼り絵」3名参加
3月より開始した、GH全体の余暇活動では、基本的に
GH1Fが水曜日午後「習字」
GH2Fが火曜日午後「貼り絵」
GH3Fが金曜日午前「折り紙」
ということで始まりましたが、都合により、開催日時の変更等もありますが、臨機応変に、無理をしないで、出来る時に、参加できる方が参加して、入居者様に楽しんで頂けるように、これからも行いながら、その都度工夫を重ねていきたいと思っております。
- ・GH2F: 2月、3月と、お話会を行いました。2月のお誕生会は、お誕生日を迎えるご利用者様より、「すいとん」が食べたいとのリクエストがあり、皆様で、すいとん汁作りをしました。面会に来たご利用者様の家族の方にも参加して頂き、楽しい時間を過ごしました。また、余暇活動として、各階、習字などを行なっていますが、GH2Fでは、貼り絵を行なっています。
交流が、でき皆様とても楽しみにされています。来月は、GH1F、2F、3F合同で、お花見に、行く予定です。今後も、どんどんGH同士の交流を図ってきたいと思います。
- ・GH3F: 最近施設内での行事が多くなり、毎週水曜日は、特定施設で、ギター演奏があり、GH3Fでも、2、3名参加されています。
また、GHでは、余暇活動として、毎週火曜日GH2Fで、貼り絵、GH1Fで習字、GH3Fで折り紙を行い、各階皆様、自由に参加して頂き気軽にお茶を召し上がって頂ける様な、環境作り、取り組んでおります。

皆様日々、外に出る機会も増え笑顔も多く見られるようになり、大変嬉しく思います。

5. 前回の外部評価で課題となった点・本人が良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直しについて
(現状に即した介護計画の見直し)

・GHより・馴染みながらのサービス利用ということで、以前は、ご利用者様等の状況により、いきなりサービスを開始するケースもありました。

馴染みながらサービスを利用できる環境作りには、至っていませんでした。

今後、入居等のお話があった際には、入居判定会議を行なうことになりましたので、いきなりサービス開始にはならないことと思います

馴染みながらのサービス利用ということですので、できれば、体験利用があると良いと思います。見学、お茶飲み、ショート等に体験を何回かしていただいてから、サービス利用していただいた方が、ご利用者様の不安緊張も、少し減るのではないかと思います。

・施設長より・体験入居や、入居の際の判定会議の開催は理想だ。できれば、GH職員の意見を尊重したいが、すぐに入居をさせたいという家族がいることもあるため、臨機応変に考えたい。

・伊澤様より・グループホームという所は、介護が必要な方が入るんだらう。そこそこ自分の用ができる方が入るのが良いと思うが、それぞれの家庭環境があり、理想どおりには行かない。理想的には、体験入居をすることは良いと思う。

・信田様より・いつも言うことだ、自分の母親が認知症？ 他施設だが入居させている。できれば家庭でみたいが、現実には無理であり、願っている。本人が体験しても、入りたいたいと言う方ばかりではないと思う。家族は、相当な覚悟で入居させている。自分で見られないことに、申し訳ない気持ちが常にある。年寄りには、これから何年生きるのかわからないため、費用負担も大変である。安くてサービスが良いところが一番良いと思う。

・大類様より・体験入居については、ケースバイケースでほとんど、家族や体の状況によって、かわっている。柔軟に対応しているのが、現状です。受け入れ先の都合、時間に追われています。

・廣瀬様より・利用者さん中心に考えているのが、良くわかる。安心して暮らせる。精神的にどう安定させるのかが大事であると考えます。これからもよろしく願いたい。

・松島様より・入居に際して、いままでお断りしたことは、あるのか？

空き室があった場合いままですべて入居して頂いている。

今のところ、満室のため、問い合わせに対しては、待機者として予約を受け付けているが、すぐに入りたいのと言われ、相手様から断られたことはあった。・野口回答

・事務部長より・お花見など、協力して援助していきたい。

6. 次回予定・第18回グループホーム運営推進会議予定の確認

H21年7月15日(水) 16:00~16:30